

9 月例会「自社の未来を描く」

～先駆者によるパネルディスカッション～

9 月 17 日 於 山本精工株式会社様

株式会社ヤスダモデル 安田 一真

6 月例会に引き続き「個人の夢」から「会社への夢」への導きとして「経営計画の思想部分」にスポットを当て、我々会社経営者と後継者が「夢」「計画」とのすり合わせに悩み、会社事業への夢をもっと現実的に感じられるようにするにはどうすればいいのかのきっかけ作りの例会を企画しました。

参加人数は約 35 名の会員の方にご参加頂きました。

パネリストとして、山本精工株式会社 山本副社長、株式会社衣川製作所 衣川社長、株式会社セイワ工業 東専務、株式会社名高精工所 名高専務の 4 名をお迎えして、当委員会委員長の義永がコーディネーターを務めました。

会場は 4F レストランの一室に 4 名のパネリストを中心として椅子を車座に並べて行い、設えは「経営ミーティング」をイメージしました。パネリストのお話の中に参加者の意見や質問、相談を交える予定でしたが、パネリストのお話のスケールに感心し、聞き入る形となってしまいました。グローバルな情報と夢に溢れ、自社の将来像を描きやすくなるようなお話でした。

ディスカッションの内容は、「現在、主に進行している事業について」、「その事業に対する思い、きっかけ、個人の夢とのリンクについて」、「後継者へのバトンタッチ、次代に対する思い」、「夢への近付け方、個人の夢と事業のリンクの方法」の 4 つのテーマについて進行しパネリストにそれぞれお話を頂きました。

過去の自身からの脱却と現在の事業や夢にも結び付いた、医療、海外、知的労働、生産数量の切り換えなどさまざまなお話を伺いました。

チャンスは情報や人との繋がりの中にあり、そのチャンスを夢に繋げるきっかけは経営者の「やりたい！」「やってみよう！」が原点であるということを勉強出来ました。

例会では、限られた時間の中でのパネルディスカッションとなりましたが、会員の方にはこれを機会に自社の夢と経営計画を明確にして頂ければ幸いです。

例会の開催にあたり御出演頂きました、山本副社長、衣川社長、東専務、名高専務 4 名の先輩にあらためて御礼申し上げます。ありがとうございました。

